



# New Partnership

第16号 2006年8月1日 安足教育事務所ふれあい学習課  
TEL.0283-23-1471 FAX.0283-23-4274 mail:ansoku-kvouiku@pref.tochigi.jp

## 「伝える技術」の目的

安足教育事務所長 岩上日出男

「人は見た目が9割」(竹内一郎著 新潮社)というタイトルの本を知人からいただいた。過激なタイトルではあるが中身は大変興味深く、面白いものであった。この本では、私たち人間が伝達する情報の中で、話す内容が占める比率は7%程度であり、主に、残りの93%(・顔の表情55%・声の質(高低)、大きさ、テンポ38%)によって情報を伝達していることが分かってきたというのである。実際には、身だしなみや仕草も大きく影響するだろうともいっている。

小見出しタイトルも

- ・勤が鋭い女性とは
- ・言葉は7%しか伝えない
- ・自分の席から離れない上司
- ・オーバーアクションは薄っぺらい
- ・日本人は無口なおしゃべり
- ・男子トイレの法則

などなど、なるほどと言える内容ばかりであった。一読をお勧めしたい。

そのタイトルの一つ、「『読み聞かせ』のコツ」の中で、小学校の先生が「間のとり方の工夫」という題でホームページ上に文章を載せていることを紹介している部分があった。

私などは役目柄あいさつをしたり人前で話すことが多くあるが、早く重荷を下ろしたいという人間の心理が働くのか、ついつい「早口」「棒読み」になってしまうことがある。この先生は、読み聞かせをするときは、2種類の「間」があるといっている。

本文を紹介すると、

【ひとつは、2秒程度の通常の「間」である。

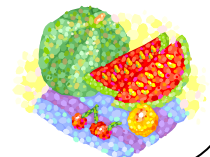
もうひとつは、5秒以上沈黙が続く「長い間」である。これを「びっくり間」と呼んでいて、大変効果的で、聞き手を集中させることができる優れたものである。】

そういえば、入学式や卒業式などの大きな式辞になると、いつも、「式辞」と読み上げてから、3秒程度おくようにしている。生徒も保護者も来賓の皆様も皆「?どうしたんだろう?」と思いい、私の話に耳を傾けてくれるだろうと考えた作戦である。あまり長いとねらいが抜けてしまう「間」になりかねないので注意が必要であるが・・・。

さらに本文の概要は以下のようにになっている。

【その先生は、「担任や保護者、またはそれに代わる子どもに親しい人が読むならば、読む技術など特にいらぬ」と言っている。大好きなお母さんや、それに準ずる親しい人が読む場合、技術がなくても子どもは喜んで聞くというわけだ。子どもは、自分の好きな人の読み方、間のとり方に合わせて感情移入をしてくるのである。つまるところ、「伝える技術」の最大の目的は、「好き・好かれる」の関係をつくることである。一方的な「間」では、誰からも好かれない。間の悪い奴になってしまうのである。】と結んでいる。

とすると、私の「式辞・・・」の「間」はどうだろう?この本を読んで、「間」の悪い奴になっていたことに気付いた。もう遅い。不器用な者にとっては今後ますます修行が必要だ。



## 「インターネット・携帯は便利な反面、危険な道具」

### P T A 指 導 者 研 修

#### インターネット・携帯電話と青少年

～家庭・学校・地域が一緒になって～

講師 栃木県警 渡邊正祐氏・NTTドコモ

事例発表 佐野市立西中学校PTA



7月6日(木)佐野市文化会館小ホールにて、標記研修会が実施されました。佐野市・足利市の小・中・高のPTA会員144名が集まり、「情報モラル教育」についての講話や事例発表に熱心に耳を傾けていました。

携帯やインターネットを使うと、友達や遠くの人、会ったことがない人とでもコミュニケーションができ、友達がたくさんできます。反面、相手が悪意を持った大人だったり、犯罪を目的としたホームページであったりすると、だまされたり、犯罪に巻き込まれたりします。いわゆる出会い系サイトに関係した事件も発生しています。当日はそれぞれの立場で、子どもたちを守るために何ができるか、参加者皆さんが真剣に考えていました。PTA指導者研修では毎年タイムリーな話題を取り上げ、皆さんとともに考える場にしていきたいと思います。

## 新しいビデオ教材の貸出を開始しました

安足教育事務所ふれあい学習課では、人権に関する視聴覚教材を学校や社会教育団体に無料貸出しています。昨年度は、113団体・9,403人の方が利用され、現在16ミリ教材30本、ビデオ教材47本を用意しています。今年、新たに2本のビデオ教材貸出を開始しましたので、ぜひご活用ください。

「心のキャッチボール」は、6月に開催した安足地区人権教育指導者一般研修でもご覧いただきました。

借受に当たっては、「栃木県視聴覚教育用教具及び教材の取扱等に関する規則」

により、16ミリフィルムを借用するときは、映写機技術修得証明書が必要となります。



くわしくは、下記の安足教育事務所ふれあい学習課ホームページをご覧ください。

[http://www.pref.tochigi.jp/ansoku-kyouiku/0803\\_fureai/080304\\_jinken/zinken\\_kyouzai.html](http://www.pref.tochigi.jp/ansoku-kyouiku/0803_fureai/080304_jinken/zinken_kyouzai.html)

ふれあい育む「家庭の日」を推進しよう

青少年を心身ともに健やかに育むためには、明るく円満な家庭が必要です。青少年育成県民運動「とちぎ心のルネッサンス」では、平成18年度の重点テーマを「家庭」とし、ふれあい育む「家庭の日」を積極的に推進します。

「第3日曜日は 家庭の日」